

<書面審議での意見>

- 「標準授業時数の大枠は維持しながら、各教科などへの時数配分を弾力化」とする遠藤熊本市教育長の意見に基本的に賛成。特に新型コロナウイルス感染拡大に伴う休校が続いている現状においては、柔軟対応は欠かせない。
  
- オンライン授業やデジタル教材を活用した ICT 教育を強化する方向性には異論がない。休校措置が続く今日の状態を踏まえれば、その重要性は理解できる。一方で、フェイス・トゥー・フェイスによるアナログ的対面授業が学校教育の基本であることも忘れてはならない。そのための紙媒体（教科書など）の役割は軽視すべきではない。大事なのはデジタルによる教育とアナログによる教育のバランスをどう取っていくかであって、ICT 教育一辺倒にならないよう、注意を払っていく必要がある。

篠原 文也